

第 61 次南極観測隊にインタビュー



さ さ き さ と し 佐々木聡史さん

- ・島根大学大学院 総合理工学研究科総合理工学専攻
地球科学 地球環境コース 博士後期課程 1 年。
重点研究観測 2、3 担当。
好きな食べものはケーキなど甘いもの。



南極観測隊に参加したきっかけはなんですか？

私は、幼い時から化石が好きで様々な地域の化石採取を行っていました。そのうち、化石について研究したいと思い島根大学に入学しました。大学 4 年生から現在にかけて、^{かいけいちゅう}貝形虫（ミジンコの仲間）の化石について研究を行っています。貝形虫とは 2 枚の石灰質の殻をもつ節足動物で、これらは様々な環境で異なった種が生息しています。また、^{しそうかせき}示相化石※として過去の環境を明らかにするツールとして多くの研究で利用されています。様々な地域に生息する貝形虫種を研究しているうちに、興味を持ったのが南極に生息する貝形虫でした。今一番興味を持っている南極の貝形虫を用いて古環境や古海洋の復元を行いたいと思い参加しました。 ※示相化石：地層の堆積した当時の環境を知る手がかりとなる化石。



第 61 次隊ではどんな研究やお仕事をされるのですか？何が楽しみですか？

私は、南極大陸で海底堆積物を採取することや、小型船を用いて海底地形の調査を行うことが主な仕事です。また、採取した堆積物から貝形虫を抽出し、現在の生息分布や古環境・古海洋を明らかにすることが私の研究内容です。
今回は、しらせ船上で初めて大型採泥器を用いて海底堆積物を採取します。日本では見ることのできない貝形虫やまだ人々が見たことのない種が見つかる可能性があります。採泥を行う時や試料から貝形虫を抽出する時など、このプロジェクトに携わることができる全ての時間がとても楽しみです。



一言メッセージをお願いします！

顕微鏡サイズのとても小さな生物にも関わらず、これらの生物はとても多くの記録を持っています。ぜひ 1 度、虫眼鏡などを持って海や河川の砂を観察してみてください。一緒に小さな生物の世界へ飛び込みましょう。